

RemoteXs は、機関が購読している電子コンテンツにアクセスするための新しいリモート・アクセス・ソリューションです。利用者をグループ分けして管理することができるので、たとえば営業所や研究所ごとにコンテンツ利用量の制限を設けたり、どのグループがどのくらい利用しているかを把握したりすることができます。

ポータルサイトを通じて各リソースに接続するので、利用統計の情報をまとめて取得することができます。

クラウドサービスなのでサーバーを用意する必要がなく、設定が簡単なので専門知識が無くても管理画面から簡単に設定ができます。

## ユーザーをグループ分けし、それぞれに利用できるサービスを設定したり

## 利用量の上限を設けたりすることで、コンテンツを安全に適正に利用することができます

たとえばこんな設定が可能です

- ✓ 一日に利用できるデータ量を制限して文献の大量利用を防ぎたい
- ✓ 研究所や営業所ごとに利用量の制限を設けたい
- ✓ トランザクション契約をしているサービスに対して、利用数の上限を設定したい

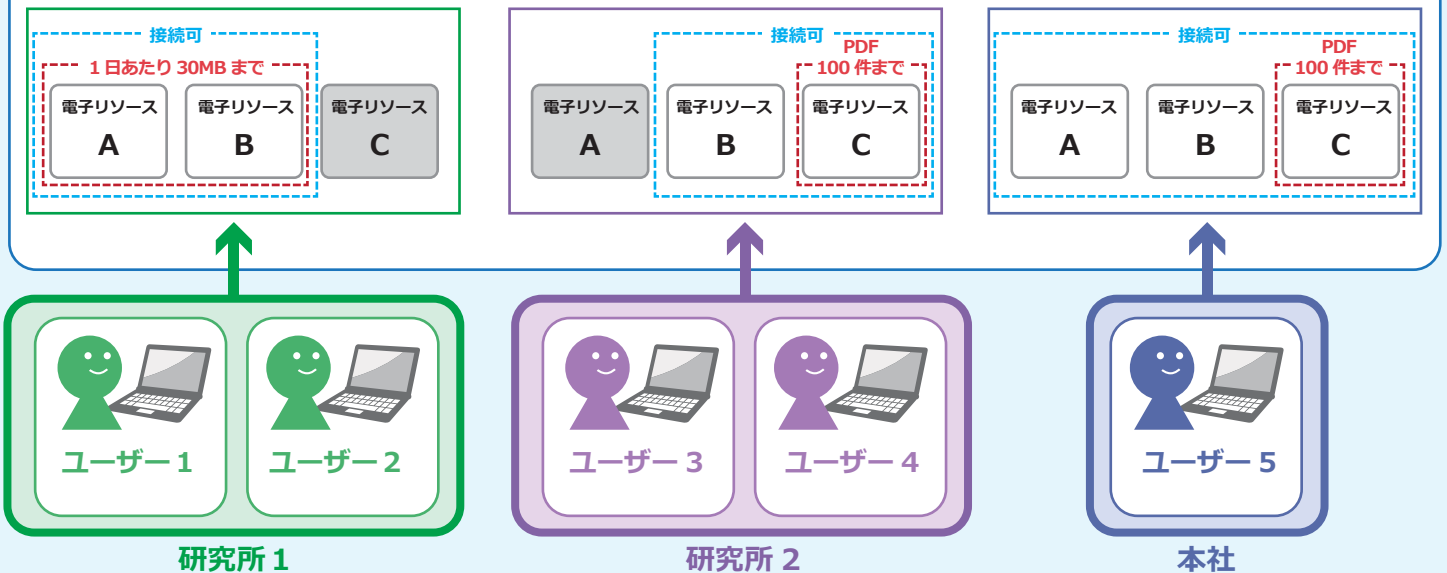


すべてのログを一括で取得

### 管理者画面での設定

	接続の可 / 不可			利用量の制限
	電子リソースA	電子リソースB	電子リソースC	
研究所 1	○ 接続可	○ 接続可	× 接続不可	30MB まで
研究所 2	× 接続不可	○ 接続可	○ 接続可	制限なし
本社	○ 接続可	○ 接続可	○ 接続可	制限なし
利用数の制限	制限なし	制限なし	PDF100 件まで	

### ポータルサイト



## ✓ クラウドサービスなのでサーバーを用意する必要がありません



RemoteXs はクラウドサービスなので通常のリモートアクセスのように**サーバーを立てる必要はありません**。多くのサービスを登録して大量のデータをやりとりすることになっても安心です。

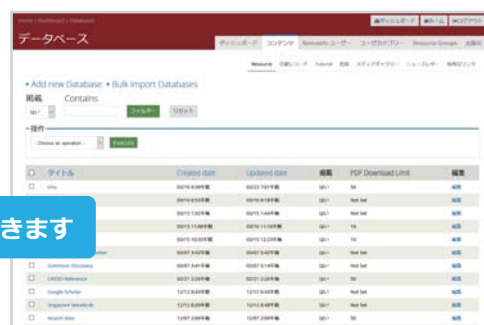
リモートアクセス以外のサービスも登録しておけば、RemoteXs でまとめてログを取得できます。全サービスの利用状況を比較検討するのに役立ちます。

## ✓ 簡単で使いやすい管理画面

### 専門知識がなくても誰でも簡単に設定ができます

接続先サービスは管理者画面から簡単に登録できます。サーバーやネットワークに関する専門知識が無くても誰でも設定することができます。

日本語の管理画面を利用できます



## ✓ 詳細な利用統計

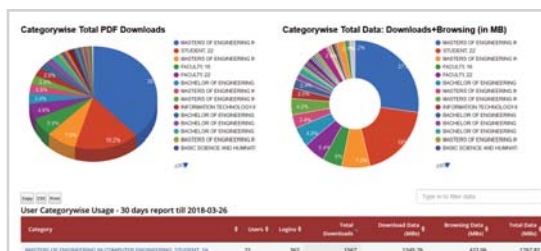
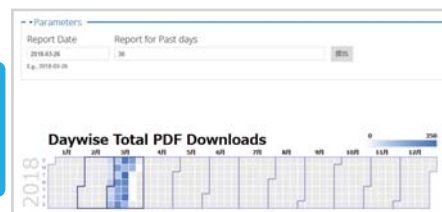
### 「誰が、いつ、どれだけ利用したか」をまとめて取得できます

どのサービスが利用されたか、どんなユーザーが利用したか詳細なレポートを確認できます。CSV/HTML/ エクセル形式でダウンロードすることもできます。



どのユーザーが何をどれだけ利用したかが分かるので、次年度の契約の検討資料になります。

営業所や研究所ごとにグループを作ってあげれば、それぞれの利用数を取得できます。



### 登録サービスのログを一度に取得できます

- ・ IP ログ
- ・ ユーザーログ (情報源および日時およびダウンロード数と量)
- ・ カテゴリーログ (ユーザの所属情報のログ、情報源、日時、ダウンロード数と量)
- ・ 情報源のログ (全ユーザがどのコンテンツにどれだけアクセスしたかの統計情報)
- ・ 全体のログ (各日および時間毎のアクセス状況)

利用ログは CSV/HTML/エクセル形式でダウンロードできます。

